

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区鍛冶町2-1-6

団体名 (株)福山コンサルタント北九州本社

代表者 執行役員本社長 野上 和彦

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃ ふくやま きたきゅうしゅうほんしゃ
団体名	株式会社 福山コンサルタント北九州本社
(ふりがな)	しっこうやくいんきたきゅうしゅうほんしゃちょう のがみかずひこ
代表者氏名	執行役員北九州本社長 野上和彦
所在地	市内事業所 北九州市小倉北区 鍛冶町2-1-6
	主たる事業所 福岡県福岡市博多駅東3-6-18
事業概要	道路、防災、環境、道路施設の調査、計画・設計、インフラ全般のマネジメントなどの社会資本に関わる総合建設コンサルタント
企業・NPO法人等の別	企業
業種（企業のみ）	学術研究、専門・技術サービス業
従業員数（企業のみ）	101～300人
ホームページの有無	有
ホームページURL	https://www.fukuyamaconsul.co.jp































連絡先

担当部署	北九州本社
担当者	鷗(ひばり)野 憲一
電話番号	093-512-5721
メールアドレス	hibarino@fukuyamaconsul.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市SDGs 未来都市計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握或使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> ○営業車の全車両HV(ハイブリッド)車化 ○社屋全体のLED化 ○通勤時の公共交通の利用規定 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> ○社内の災害時備蓄品を交換時期に伴い、NPOフードバンク北九州ライフアゲインへ食品寄贈することでの有効活用 ○地ビールの醸造過程の副産物であるビール糟を活用し、他の地域資源を組み合わせた循環型経済の確立を目的に、資源循環の方法別(堆肥化・飼料化・原料活用)の実現性、経済性を検討(現在、環境局環境未来技術開発助成事業) 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)①
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> ○市内事業者を優先して物品を調達 ○NPO視覚障害者自立推進協会に点字名刺を依頼 ○屋外作業の社内外業者への安全教育の実施 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール8	経済(2)②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> ○地ビールの醸造過程の副産物であるビール糟を活用し、他の地域資源を組み合わせた循環型経済の確立を目的に、資源循環の方法別(堆肥化・飼料化・原料活用)の実現性、経済性を検討(現在、環境局環境未来技術開発助成事業) ○社会資本整備に関わる技術を活かし、他分野との共創によるICT技術を活用した橋梁のモニタリングシステム、AIによる都市の水位予測システム、位置情報ビッグデータを活用した人流分析技術などの開発による災害や危機管理予測を目的とした商品開発を実施 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	社会(2)①
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> ○北九州響灘ビオトープをJV(NPO北九州ビオトープネットワーク研究会、福山コンサルタント、エコプラン研究所)で運営し、「希少種の生息する環境の保全を図りつつ、市民と自然とのふれあいを通じて生物多様性などの自然環境を学ぶ」機会の提供により、地域環境学習の促進を図る ○現在のコミュニティバスに代わって、新しいモビリティサービスの「地域新MaaS創出推進事業」において、持続的事業モデルの創出を目的として大学、自治体、鉄道会社などと共同で事業性を推進 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール15	環境(4)①
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> ○多様な働き方として、テレワークによる勤務体制(常時での出勤率5割)を推進 ○労働基準法に基づく36協定の上限値とは別に、労働時間の適用基準をより厳格化した目標を設定し全社員をチェック。また有給休暇の消化率(付与の7割消化)も併せてチェック 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(1)②
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> ○厚労省の女性活躍推進法による「えるぼし認定」の第2段階を登録済み 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会(1)②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> ○ハラスメント防止を目的とする社内規定の整備、社内相談窓口を設置、また、毎年外部講師を招いてハラスメント講習を実施 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(1)②
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ○産業医の出席する衛生委員会を毎月実施し、懸念のある社員については産業医の面談を実施 ○毎年、全社員の健康診断とストレスチェックを実施し、懸念のある社員は産業医の面談を実施 ○多様な働き方としてテレワークによる勤務体制(常時での出勤率5割)を推進 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール8	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ○新卒入社員および管理職の研修を毎年実施し、全社員集合による業務成果報告会を毎年実施して、技術向上の研修を実施 ○社外団体への技術研修目的の出身や大学の社会人博士課程進学について会社が支援 ○北九州地域産業人材育成フォーラムや就活サイトを活用したインターンシップの受入による外部人材の教育 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	経済(2)①
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)①
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ○SDGsの取組みをマネジメントする部署として企画室が担当し、会社のHPで会社のSDGs活動について「SDGs宣言」を掲示し、活動を推進 ○災害、情報セキュリティ、個人情報保護などの危機管理対応を目的とした「危機管理マニュアル」を整備し、会社として常時は「危機管理委員会」、必要に応じて「危機管理本部」立ち上げの制度を設立し、多様な危機管理に柔軟に対応できる体制を確立し、常に事業継続が可能な体制としている 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	社会(2)①
							ターゲット	具体的な取組	
							12.6	社会(2)ア	

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月1日
 団体名 ㈱福山コンサルタント 北九州本社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

建設コンサルタントとして、常に地域課題の解決に向けた提案を通して、SDGs活動を今後も推進。
 ○近年の多発する自然災害に対する地域の安全・安心を支え、環境に配慮した地域発展を促進。
 ○喫緊課題である社会資本の老朽化や急激な少子高齢化社会に対応した持続可能な地域づくりを推進。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	社会・地域の持続的発展 (必要な社会資本整備、防災・減災、老朽化対策など)	指標 (KPI)	市内自然災害発生時の緊急対応件数	指標
社会	○		目標値		社会(2)①
環境			2023年 (その他の場合) ()年	当社対応箇所 年3箇所以上	具体的な取組 社会(2)ア
経済		響灘びわ湖への運営を基盤とした地域の環境意識の醸成	指標 (KPI)	ビオトープでの地域環境学習	指標
社会			目標値		環境(4)①
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	地域環境学習回数 年5回以上	具体的な取組 環境(2)イ
経済		人権の尊重 (働き方改革の推進、子育てと仕事の両立支援、えるぼし認証の第3段階取得)	指標 (KPI)	育児休業取得	指標
社会	○		目標値		社会(1)②
環境			2023年 (その他の場合) ()年	取得率 男性：3割以上 女性：100%	具体的な取組 社会(1)イ

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団体名 ㈱福山コンサルタント北九州本社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
16 ノーマイカー事業	○通勤時の公共交通の利用を規定 【ノーマイカーデー賛同企業】
17 食品ロス削減サポーター	○社内の災害時備蓄品の定期交換時期に、市内フードバンクに寄贈することで有効活用 【令和3年10取組開始予定】
99 その他（市と連携した取組み）	○北九州市環境未来技術開発助成事業において、地ビールの醸造過程の副産物であるビール糟を活用し、他の地域資源を組み合わせた循環型経済の確立を目的に、資源循環の方法別（堆肥化・飼料化・原料活用）事業の実現性、経済性を検討中 【締結済】

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。